



2026 春季生活闘争スローガン

ONE TEAMで今年も賃上げ！

2026年 3月 9日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 中 国 地 協 2 0 2 6 春 闘 学 習 会

J R 連 合 中 国 地 協 は 2 月 2 3 日、米子市内で「2026 春闘学習会」を開催し、参加した各単組の課題を共有するとともに、2026 春闘勝利に向けた決意を固めあった。



中国地協 石松議長

主催者を代表してあいさつした石松大介 J R 連 合 中 国 地 協 議 長 (J R 西 労 組 広 島 地 本 執 行 委 員 長) は、「安全の確立」「2026 春季生活闘争」「組織強化・拡大」など、主要な取り組みに対して所見を述べるとともに、「2026 春季生活闘争を ONE TEAM で取り組み、高水準の賃上げを継続的に実現させよう」と呼びかけた。

J R 連 合 から 出 席 し た 住 吉 一 家 労 働 政 策 局 長 は、J R 連 合 の 2 0 2 6 春 季 生 活 闘 争 方 針 を 説 明 し、「総額 18,000 円以上・統一ベア要求 12,000 円以上は最低基準であり、決して高い水準ではない」と訴え、積極的な上積みも要請した。また、厚労省で議論されている労働基準関係法制の見直しについても触れ、「春闘の機会を活用し、労働組合の必要性を内外にアピールしていこう」と呼びかけた。



その後、各単組の代表者が、それぞれの検討状況、業種やエリア特有の課題などを共有し、相互に意見交換した。

終了後の交流会では、全ての参加者が思いを述べるなど、充実した学習会となった。